

I

■出題のねらい

環境汚染に対するドローンの利用を題材に、空所補充問題や整序問題、内容把握を問う問題から構成されています。英文自体はそれほど難しくなく、内容を理解するのもそれほど難しくありません。その分、英語の基本的な力が求められます。

■採点講評

1 と 6 は非常によくできていました。正答率が低かったのは 2、4、5 でした。2 は下線部 1) the U.S. Clean Water Act に関する問題ですが、Act に「法律・条例」の意味があることを知っている受験生は少なかったかもしれません。しかし、この直後に This law (この法律) で始まる文が続くことから推測することが可能です。下線部そのものが分からなかったとしても、文脈から理解することを心がけましょう。4 と 5 はどちらも空所補充の問題です。前者は答えとなる grant (助成金) は難しい語かもしれませんが、他の選択肢はどれも知っておいてほしい語です。一方後者は、空所を含む文の理解が重要です。5 の前の関係代名詞 that の先行詞が pollution (汚染) であることから、ドローンがどのような汚染を見つけるのに有用な道具かを考えると答えに近づくことができるでしょう。

II

■出題のねらい

10問の短い対話の小問からなる新形式の問題です。問題は内容把握と空所補充の2種類ですが、短い対話なので理解が難しいということはありません。基本的な語彙力や会話特有の表現の知識があれば十分解答が可能な問題です。

■採点講評

全体的によくできていました。特に 8 と 9 は非常によくできていました。正答率が低かったのは 10、11、16 でした。10 は対話で用いられている keep your word (約束を守る) という表現がカギとなります。なお、この直前にある You let me down. (君にはがっかりしたよ・見損なったよ) も覚えておいてほしい表現です。11 を解くには、Eve の発言を正確に読み取る必要があります。you can't beat Italy for food (食事はイタリアが最高だ) における beat の意味と使い方は辞書で確認することをお勧めします。laid back and friendly (おおらかで人懐っこい) は、前者の表現を知らなくても friendly と似たような意味であることが推測できます。また、having said that (とほいうものの) というつなぎの表現も重要です。16 はこれに対する返答の I'll give him the message. (彼に伝えておきま

す)を見て、② Can you leave me a message? を選んでしまった受験生が多かったようです。leave a message は「伝言を残す」ですが、leave me a message は「私に伝言を残す」です。誰が何をするのかを正しく理解できれば、③を選ぶことができるでしょう。

III

■出題のねらい

タイへの留学から帰ってきた友達に、留学の様子を尋ねる内容の会話です。分量はさほど多くなく、質問とそれに対する返答というやり取りのため、理解しやすい問題です。会話特有の表現も少しありますが、2人のやり取りが理解できるかどうか鍵となります。

■採点講評

全体的に非常によくできていました。特に 19、20、22 は非常によくできていました。正答率が比較的低かった問題は 21 と 23 でした。前者は空所に文を補充する問題です。ここは、Joe が自分のことばかり話してきたため、相手に話す順を譲る場面です。②を選んでしまった受験生が多かったようですが、It's up to you. (それはあなた次第です・あなたに任せます) は相手に決断を促す場合などに用いる表現です。23 は会話全体に関する内容把握の問題です。各選択肢の根拠となる部分を見つけるとよいでしょう。正答の②の根拠となるのは Joe の We studied Monday through Friday ... という発言です。おそらく I went to learn some basic everyday language の箇所から②を排除した受験生もいるかもしれませんが、ここの everyday は「日常の」という意味です。また、④を選んでしまった受験生も多く見られましたが、my favorite was pad thai と言ったのは、Jim ではなく Joe です。代名詞が誰を指しているかには十分注意しましょう。

IV

■出題のねらい

説明可能な AI という最新技術を題材とする総合問題です。受験生にはあまりなじみのないテーマと思われますが、英文も内容もそれほど難しくはありません。英語の基本的な力があれば解けるでしょう。

■採点講評

全体的によくできていました。特に 24 と 28 はよくできていました。前者は文と文のつながりを表す基本語の問題であり、後者は内容把握の問題です。一方、正答率の低かった問題は 25、27、30 でした。25 は適切でないものを選ぶ問題です。つまり、4つの選択肢のうち3つは正しいので本文に必ず根拠があります。多くの受験生が誤って選んだ①については、“Explainable AI,” or XAI とあることから内容が正しいことが分かります。なお、この or は「すなわち・つまり」という意味です。この問いの答えは③ですが、その根拠となるのは Small, new companies and large technology companies are competing ...の箇所、compete（競争する）が分かれば容易に解くことができます。27 を解くカギは直前の question で、「疑問を抱く」という意味です。どのような疑問かは、文脈から「説明が必要かどうか」として読み取れるでしょう。30 は英文全体の内容把握であり、しかも合わないものを選ぶ問題です。本文の Now, the AI quickly does research and analysis. の箇所から、③が内容に合わないことが分かります。誰が何をするのかを理解することは基本であり、最も重要なことと言えます。